

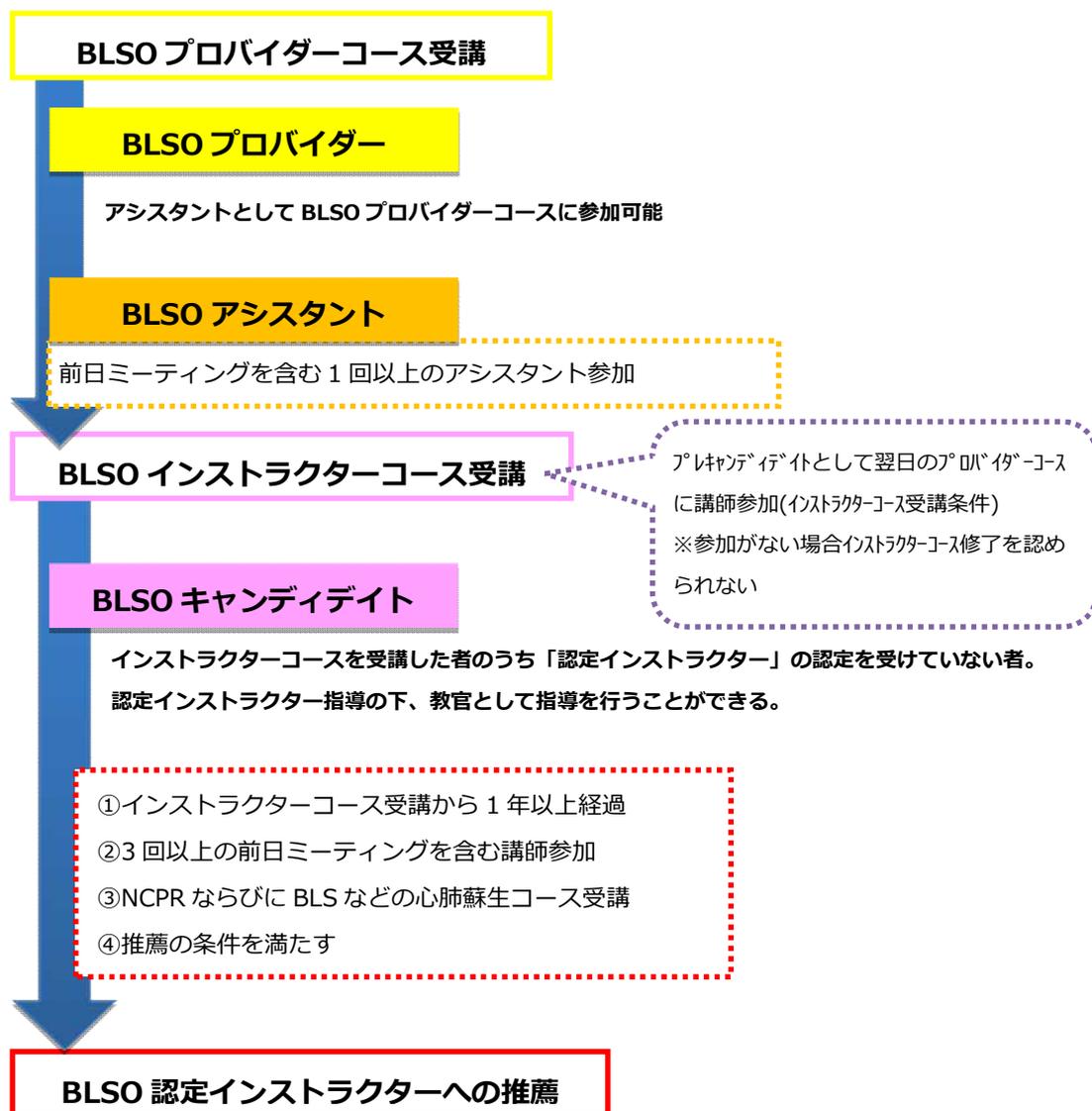
5. Basic Life Support in Obstetrics(BLSO)

- 病院前妊産婦救護に関するシミュレーションコース -

分娩施設のない地域等における陣痛発来や車中分娩や病院外での妊産婦救急に突然遭遇する可能性がある救急救命士等を対象に、平成 29 年度から高知医療センターに委託し、妊産婦救急救命基礎研修 (BLSO プロバイダーコース及びインストラクター養成研修) を行っている。

妊産婦救急救命基礎研修受講者が妊産婦救急の対応を行った際に、かかりつけ医ではなく高次病院での緊急処置が必要と思われる場合には、高知医療センター (TEL0 8 8 - 8 3 7 - 3 7 9 5) に相談の上、「こうち医療ネット」または、高知救急医療情報センターから搬送先の医療機関情報を把握し、受け入れ可能な高次病院に連絡をとり搬送することが可能とする。

< コースの概要 >



研修受講者数 (H28～R 元)

※1 高知医療センター主催(生命の基金)

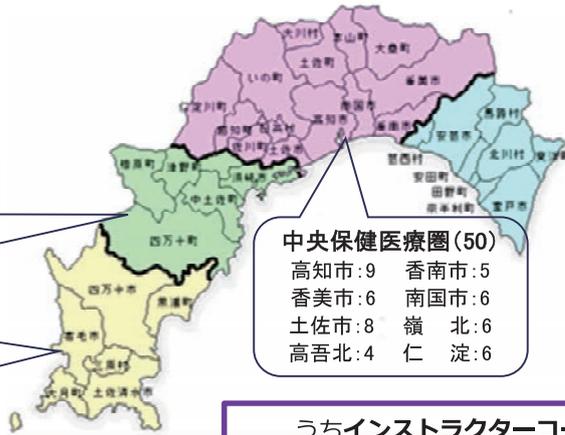
※2 1回目(9月)が台風により中止となり1回のみ開催

職種	H28 年度	H29 年度		H30 年度※2	R 元年度		計
	※1	10/1	1/21	2/16※	9/29	2/9	
救急救命士	22名	15名	16名	17名	18名	17名	105名
救急医・助産師等	13名	3名	2名	1名	0名	0名	19名
合計	35名	18名	18名	18名	18名	17名	124名

H28～R 元年度の
プロバイダーコースの
消防機関所属別研修受講者数

高幡保健医療圏(19)
高 幡:19

幡多保健医療圏(20)
土佐清水市:6
幡多中央:8
幡多西部:6



うちインストラクターコース (H30～R 1) 受講者
救急救命士・・・2名(高知市、土佐市) 医師・・・3名



【BLSO とは】

病院前の産科救急的対処をはじめ、日頃は産科医療に関与していないが、車中分娩や病院外での妊産婦救急に突然遭遇する可能性がある救急救命士や救急医、家庭医、看護師等の方々を対象とした実践的なプログラム

〈研修内容〉

- ・ 妊婦の評価方法 (週数の推定、分娩経過の観察、妊娠中の女性の出血や腹痛の評価など)、分娩介助、新生児蘇生、妊婦蘇生等についての講義と実技等
- ・ 1日間
- ・ 筆記試験、マネキンによる実技試験 → 合格すると BLSO プロバイダーコース認定

※研修は、NPO 法人周生期医療支援機構が、ALSO-Japan 事業として運営を実施